

2018・3・17

4日目の報告となります

さて、今日は一日バンクーバーへの日帰りアールでした。昨日と同じようにユニティに集合してから移動でしたが、今日は月曜日からお世話になる英語の先生のシャロンとマシュー、そしてバディが14人来てくれました。二台のバスに生徒もバディも先生方も半分ずつに分かれて乗り込みました。せっかくのチャンス！あっという間に過ぎていく時間は戻りませんし、勿論買う事もできません。この貴重な一日をどう過ごすかは、みんな次第という事を出発前に話すと、早速バディの横に座って会話をする生徒、なんとなく様子を見ている生徒、揺れる車内でバディとオセロを始めた生徒もいました。また英語の先生シャロンに質問をする生徒の姿も現れました。

そして10:15頃、UBCに到着です。GPIの上地さんが迎えて下さり、キャンパス内に入りトイレを済ませ、三階の方へと移動して行きました。今までと異なり、広くきれいなキャンパス内をきょろきょろと見渡ししながら、現地のUBCの学生の待つ場所へと急ぎました。UBCでは日本人2人を含む10名の生徒が集まってくれました。中には立命館大学の留学プログラムで参加している学生もあり、生徒達に日本の大学とカナダの大学の違いについても教えてくれました。

さて、まずはプレゼンテーションです。UBCの生徒に加え、バディ14名、英語の先生方、私たちの前での発表です。今回は、6班の「放課後学習の現状とこれから」が代表プレゼンテーションとなりました。新井君、葛貫さん、茂木さん、中村さん、鈴木君の5人がまとめ、堂々と発表してくれました。始まってすぐにGPIの上地さんが「興味深い。分かりやすい内容。英語もしっかりわかるように話している。」とそっと耳元でささやきました。

UBCの学生たちも同じような気持ちで、真剣に聞いていたようで、発表が終わると同時に質問が相次ぎました。答えに困る様な難しい質問も容赦なく飛び交いましたが、生徒たちも聞き逃すまいと真剣に聞き、一生懸命考えて答えていました。

(大嶋先生がビデオにおさめていらっしゃる)

どんどん続く質問にリーダーの新井君がしっかりと質問に答えていたのがとても印象に残っています。スピーチが終わったあとに、GPI上地さんが「相当練習してきたのですね」と先生方に尋ねていました。そして続けて「今までで一番と言っても良いくらい、良いプレゼンテーションでした」と話していました。

その後、10班に分かれてのキャンパスツアー。広大なキャンパスに圧倒されながらも、またこうして案内してくれる学生との交流は大変刺激になったと思います。

「いつかここで学びたい」「将来は海外の大学へ」と将来の自分を描きながら歩いた生徒もきっといたことでしょう。UBC学生の説明を真剣に聞く生徒の目はとても輝いて見えました。学生にお礼を言い、別れを告げてランチの時間です。家からのランチを食べた生徒、またカフェテリアで好きなものを購入して食べた生徒、皆このUBCのカフェテリアにて学生気分を味わいながらのランチ時間でした。

その後、バスは観光スポットでもある「スタンレーパーク」に寄りました。ここはダウンタウンの西にある大きな公園で、公園内に針葉樹林があり、美しい自然が楽しめる場所です。そして毎回このあたりで雨に降られてしまい、傘を持つイメージが強いのですが、なんと今日は晴天！最高のお天気に恵まれました。柱上の木の彫刻で作られた「トーテムポール」と青い空をバックにバディたちと一緒に写真を撮る姿がありました。皆、とても良い笑顔でした。きっとすばらしい特別な「1枚」が撮れたことでしょう。

その後、バスはダウンタウンの中心地へ。バンクーバーで最も賑わっている場所といえば？と聞かれたら、誰もが「ロブソン通り」ということでしょう。その中心にのびる大通りでデパートやホテル、みやげ物店、ブランドショップ、レストラン、語学学校、図書館、美術館などが並び、賑わいをみせているところです。40分ほどのフリータイム。ここはカナディアンバディと一緒に行動です。3人から4人で決められたグループでロブソン通りの雰囲気を味わいながらも、カナダのお土産を買ったり、マクドナルドでジュースを飲んだり楽しい時間を過ごせたようです。元気いっぱいの笑顔でバスに戻ってきました。

バスの中では、月曜日のスケジュールの確認をしながら、また明日どうホストファミリーと過ごすか、など話して移動しました。帰りは、2号車のバスにりましたが、疲れて寝ることを想定していましたが、私が思っている以上に生徒たちは元気で、火曜に行われるさよならパーティについて古橋さんを中心に話し合っていました。これはプログラムになるのですが、どうやら自主的に「さよならパーティ招待状」というのを作っているようです。佐藤望遥さんがカードのデザインをしたようです。予備が沢山あるからと、ホームステイをしている添乗員の私までもが、その紙をもらい、生徒達全員がとても頼もしく思えました。

明日は最初で最後のホストファミリーと過ごす日曜日です。

各家庭で過ごし方は様々ですが、ここでしか過ごすことのできない貴重な時間を楽しんでほしいと思います。この週末がまたひとつ大切な思い出になることでしょう。

以上、報告となります。
宜しくお願い致します。

アイエスエイ 添乗員 原田









